

# ☆地域包括ケアふじえだプロジェクト☆

令和2年10月29日 VOL. 142

～地域みんなで育てよう！～

青島第8自治会助けあいの会「はちすけ」が発足！！



藤枝駅周辺を中心市街地にほど近い青島第8自治会（瀬戸新屋、水上、南新屋、新南新屋、芙蓉台、緑の丘の6町内会で構成）で、地域住民の困りごとを住民ボランティアによる支援の仕組みで解決しようと立ち上げた「青島第8自治会助けあいの会『はちすけ』」の発足式が、令和2年10月25日（日）に藤枝市文化センターにおいて開催され、会場には地域住民や関係団体、機関など120人を超える関係者が駆け付け、新たな地域組織の門出を見届けました。

この取組は、市が推進する支え合いの地域づくりとして、地域住民が持つ地域の課題意識に対して住民自ら解決しているという地域づくりに向けた協議に対し、藤枝市社会福祉協議会の生活支援コーディネーター（市委託事業）や青島地区交流センターがサポートして実現したものです。

発足式では、青島第8自治会の会長で「はちすけ」の代表を務める内藤忠男さんが「地域でプロジェクトチームを立ち上げて1年かけてみんなで話し合ってきた。『はちすけ』があってよかったと地域から声上がるように、『はちすけ』



▲発足にあたって抱負を語る内藤代表



▲はちすけの仕組みを説明する増田事務局長

「はちすけ」誕生までの秘話の披露、「はちすけ」発足を祝してのプロパノータ（プロパンガスボンベを加工して作った打楽器）の演奏がされました。会場は、新たな地域のボランティアの熱気と地域の宝が創出されたことへの期待に包まれていました。「はちすけ」は11月から本格的に活動を開始します。

をみんなで育てていきたい」と抱負を語りました。また、瀬戸新屋在住の市議会議員で「はちすけ」の事務局長を務める増田克彦さんが、青島第8自治会の現状や地域で実施した住民意識調査の結果などを報告し、住民主体の助け合いの仕組みの必要性をみんなで共有し協議を進めてきた経緯と「はちすけ」の仕組みの概要を説明しました。そのほか発足式では、「はちすけ」の愛称を考えたプロジェクトチームのメンバーの紹介、愛称が決定したいきさつなどの裏話など「はちす

## <「はちすけ」の支援>

対象：青島第8自治会の住人で、日常生活上支援が必要な人

支援内容：庭木の手入れ、ゴミ出し、電球の交換、子供の一時預かり、話し相手など

利用料：30分ごと250円 入会金1,000円

